

2009年2月2日

会員各位

日本ファイナンス学会
「研究観望会」幹事 本多俊毅

第16回研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会は、第16回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回の報告は「非線形金利期間構造モデルの近似」をテーマに、裏面要旨のとおり大変興味深いものですので、奮ってご参加賜りますようお願い申し上げます。ご出欠につき、同封の申込書(葉書/Fax)にて3月19日(木)までにご返事いただければ幸いです。ホームページからのお申込も可能ですのでご利用下さい(<http://www.nfa-net.jp>)。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬具

記

テーマ：「非線形金利期間構造モデルの近似」

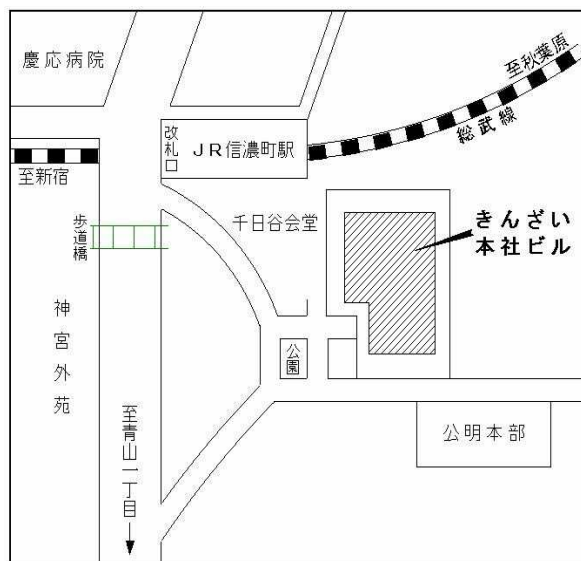
報告者：高見澤 秀幸 氏 (筑波大学人文社会科学部)

日時：2009年3月25日(水) 午後6時30分より

会場：(社)金融財政事情研究会 2F第1会議室 (下図参照)

東京都新宿区南元町19 (〒160-8519) Tel: 03(3354)2377

JR「信濃町」徒歩5分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 本多 俊毅

(一橋大学国際企業戦略研究科助教授)

Tel: 03(4212)3100

E-mail: thonda@ics.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局
(阿部・小林(奈))

東京都新宿区南元町19 (〒160-8519)

Tel: 03(3354)2377 Fax: 03(3359)7947

E-mail: honbu@nfa-net.jp

URL: <http://www.nfa-net.jp>

以上

非線形金利期間構造モデルの近似

筑波大学人文社会科学研究所

講師 高見澤 秀幸

概要：

金利期間構造モデルは大別して二種類ある。一つは、イールド・カーブをアウトプットとするモデルである。この場合インプットとなるのは、一般的な状態変数(ファクタ)である。代表的なモデルには、Vasicek (1977)、CIR (1985)、Duffie and Kan (1996) などがある。もう一つは、イールド・カーブをインプットとするモデルである。この場合アウトプットとなるのは、イールド・カーブに依存した派生商品価格である。代表的なモデルには、HJM (1993)、BGM (1997)、Jamshidian (1997) などがある。

本講演では、イールド・カーブの動学的性質の解明に重点を置き、これに適した前者のモデルに焦点を絞る。既存モデルを紹介し、その利点や難点を指摘する。時系列解析の研究が支持するファクタの変動モデルを用いると、一般に債券価格の解析解を得られない。解析解が得られない場合は、数値解を求めることになるが、この計算をパラメータ推定やファクタ抽出に要する計算と組み合わせると、負荷が極めて高くなる。この点を克服するために提案した、次の二つの近似方法について解説をする。

1 局所線形化法

ファクタの変動過程のドリフト項及び拡散項(の二乗)を局所的に線形近似する。これにより、近似された変動過程の下では PDE の各係数がファクタと時間の線形関数となり、債券価格を解析的に解くことができる。

2 条件付き期待値の近似法

期待値を常微分方程式の解として近似する。債券価格は stochastic discount factor に対する条件付き期待値で与えられるため、直接これを計算することができる。

日本ファイナンス学会「研究観望会」

報告者募集要領

研究観望会運営委員会

代表幹事 本多 俊毅

研究観望会は、世界のファイナンス研究の最新動向をテーマ別に展望するもので、各トピックに関する最新の成果をサーベイした報告を通じて、会員各位の知識・情報の整理に役立てるとともに、会員の研究活動の促進に寄与することを目的としたものです。この目的にそった報告者を下記要領にて募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、報告内容については、幅広く、理論、方法論、実証研究、制度の現状と展望等々にいたるまで歓迎いたします。

とりわけ、若手研究者を歓迎し、研究奨励的な運営を企図しております。必要に応じた交通費、宿泊費を支給するとともに、報告に対する研究奨励金も支給いたします。

ご応募いただきますと、研究観望会運営委員会が合議のうえ諾否を決め、結果を応募者個人に直接お知らせいたします。

ご応募にあたっては、研究観望会の円滑な運営のため、以下の必要書類を各3部ご用意のうえ、日本ファイナンス学会事務局までお送りください。

- (1) 報告論文のテーマと章建ての計画
- (2) 各章各節の詳細な要旨
- (3) 報告分野に関する参考文献表
- (4) 報告者の略歴とこれまでの研究成果
- (5) 報告分野と関連した報告者の論文等著作物がある場合は、そのコピー。

なお、完成論文がある場合は(1)～(3)に代替できます。

応募先／問合せ先

日本ファイナンス学会 研究観望会

Tel:03(3354)2377 Fax:03(3359)7947

E-mail:honbu@nfa-net.jp

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

(社)金融財政事情研究会 内